平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月13日

上場会社名　　株式会社 パイオラックス　　上場取引所　東
コード番号　　5988　　ＵＲＬ　http://www.piolax.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）島津　幸彦
問合せ先責任者　（役職名）経営管理部経理グループリーダー　（氏名）郷原　慎一　　ＴＥＬ　045-731-1211

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	37,268	8.2	4,479	24.8	4,966	24.6	3,259	24.0
24年３月期第３四半期	34,439	0.7	3,590	△12.6	3,984	△13.9	2,627	△8.6

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　3,344百万円（78.1%）　24年３月期第３四半期　1,877百万円（△17.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	262.06	－
24年３月期第３四半期	209.25	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	61,197	52,000	84.2
24年３月期	58,151	49,079	83.7

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　51,529百万円　24年３月期　48,676百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	15.00	－	17.50	32.50
25年３月期	－	17.50	－		
25年３月期（予想）				17.50	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	5.4	5,300	12.7	5,700	10.0	3,600	5.7	289.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　有
　　新規　1社　（社名）ピーティー　パイオラックス　インドネシア、　　除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
　　（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：　有
②　①以外の会計方針の変更	：　無
③　会計上の見積りの変更	：　有
④　修正再表示	：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	13,084,700株	24年３月期	13,084,700株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	646,039株	24年３月期	646,013株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	12,438,680株	24年３月期３Ｑ	12,558,729株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、震災の復興需要等を背景に緩やかに景気改善の兆しが見られたものの、円高の長期化や領土問題に端を発する政治・経済の影響等、景気は依然として不透明な状況が続いております。しかし12月の衆議院選挙での政権交代、為替レートが円安方向に向かい始めたことにより、不透明ながらも景気回復に向けた期待が高まっております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、昨年の震災による減産からの生産回復が継続し、国内ではエコカー補助金効果、海外では新興国での拡販活動や北米の自動車需要回復等の影響により、国内生産台数は7,168千台と前年同期比10.4%の増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、新興国を中心とした拡販活動を継続的に推進した結果、連結売上高は372億６千８百万円と、前期比28億２千８百万円（8.2%）の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加えより一層の合理化を推進いたしました結果、連結営業利益は44億７千９百万円（前期比24.8%増）、連結経常利益は49億６千６百万円（前期比24.6%増）、連結四半期純利益は32億５千９百万円（前期比24.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（自動車関連等）

新興国を中心としたグローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は350億９千３百万円（前期比8.7%増）となりました。一方利益面においては、増収効果に加え収益改善活動を推進したことにより、営業利益は49億３千５百万円（前期比27.4%増）となりました。

（医療機器）

新規顧客への拡販等積極的な営業活動を推進いたしましたが、保険償還価格見直しによる影響と将来に向けた営業・開発体制強化を進めた結果、売上高は21億７千５百万円（前期比1.3%増）となり、営業利益は３千７百万円（前期比76.2%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期の資産合計は、現金及び預金、有形固定資産の増加等により30億４千６百万円増加し、611億９千７百万円となりました。

負債合計は、１億２千４百万円増加し、91億９千７百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金等の増加により29億２千１百万円増加し、520億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月9日の「平成24年３月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	49,000	5,300	5,700	3,600

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結会計期間において、ピーティー　パイオラックス　インドネシアは新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会社方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,913	13,060
受取手形及び売掛金	11,879	11,761
有価証券	187	187
商品及び製品	2,710	3,090
仕掛品	1,277	1,305
原材料及び貯蔵品	1,087	1,199
その他	1,736	1,839
貸倒引当金	△32	△40
流動資産合計	30,760	32,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,042	4,078
機械装置及び運搬具（純額）	4,369	5,083
工具、器具及び備品（純額）	1,325	1,371
土地	4,699	4,703
リース資産（純額）	26	44
建設仮勘定	985	1,067
有形固定資産合計	15,448	16,348
無形固定資産		
のれん	―	0
その他	397	506
無形固定資産合計	397	506
投資その他の資産		
投資有価証券	10,480	10,844
その他	1,065	1,096
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,545	11,940
固定資産合計	27,391	28,795
資産合計	58,151	61,197

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,567	2,420
短期借入金	353	530
未払法人税等	731	739
引当金	718	362
その他	2,576	2,885
流動負債合計	6,947	6,938
固定負債		
引当金	71	95
資産除去債務	18	18
負ののれん	0	－
その他	2,034	2,144
固定負債合計	2,124	2,258
負債合計	9,072	9,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,696
利益剰余金	46,004	48,828
自己株式	△710	△710
株主資本合計	50,951	53,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608	573
為替換算調整勘定	△2,883	△2,820
その他の包括利益累計額合計	△2,274	△2,246
少数株主持分	402	471
純資産合計	49,079	52,000
負債純資産合計	58,151	61,197

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	34,439	37,268
売上原価	25,841	27,386
売上総利益	8,598	9,882
販売費及び一般管理費	5,008	5,402
営業利益	3,590	4,479
営業外収益		
受取利息	16	18
受取配当金	21	25
持分法による投資利益	316	445
その他	113	96
営業外収益合計	467	585
営業外費用		
支払利息	10	18
デリバティブ評価損	－	33
固定資産廃棄損	8	10
為替差損	29	22
その他	24	14
営業外費用合計	73	99
経常利益	3,984	4,966
特別損失		
災害損失引当金繰入額	11	－
災害による損失	0	－
特別損失合計	11	－
税金等調整前四半期純利益	3,973	4,966
法人税等	1,312	1,661
少数株主損益調整前四半期純利益	2,660	3,304
少数株主利益	32	45
四半期純利益	2,627	3,259

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,660	3,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△47
為替換算調整勘定	△587	66
持分法適用会社に対する持分相当額	△146	20
その他の包括利益合計	△782	39
四半期包括利益	1,877	3,344
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,865	3,287
少数株主に係る四半期包括利益	11	56

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	32,293	2,146	34,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	32,293	2,146	34,439
セグメント利益	3,874	156	4,030

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,030
全社費用（注）	△475
セグメント間取引消去	36
その他の調整額	△0
連結損益計算書の営業利益	3,590

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	35,093	2,175	37,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	35,093	2,175	37,268
セグメント利益	4,935	37	4,972

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,972
全社費用（注）	△520
セグメント間取引消去	37
その他の調整額	△9
連結損益計算書の営業利益	4,479

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

４．報告セグメントの変更等に関する事項

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「自動車関連等」で13百万円、「医療機器」で０百万円増加しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（参考資料）

[所在地別セグメント情報]

	日本（百万円）	北米（百万円）	アジア（百万円）	その他（百万円）	合計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	25,563	4,550	5,750	1,403	37,268	－	37,268
(2)セグメント間の内部売上高	2,722	26	878	6	3,633	△3,633	－
計	28,286	4,577	6,628	1,409	40,902	△3,633	37,268
営業利益	3,832	177	654	123	4,788	△308	4,479